

News Release

2018年7月17日

この資料は BASF 本社(ドイツ)が 2018 年 7 月 4 日に発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

BASF、3D プリント材料メーカー2 社を買収

- **Advanc3D Materials 社は、粉末焼結積層造形法 (SLS : Selective Laser Sintering) 用の高性能プラスチック粉末およびフォーミュレーションを販売**
- **Setup Performance 社は、レーザー焼結用の革新的な製品を開発、製造**
- **SLS 材料の研究、開発、販売は BASF 傘下の BASF 3D Printing Solutions が継続**

BASF New Business GmbH (BNB: BASF ニュービジネス社)はこの度、ドイツ ハンブルグの Advanc3D Materials GmbH 社、およびフランス リヨンの Setup Performance SAS 社の全株式を取得しました。Advanc3D Materials は、粉末焼結積層造形法 (SLS: Selective Laser Sintering) 用の高度なテーラーメイドのプラスチック粉末とフォーミュレーションを、プロセスノウハウと共に提供する企業です。一方 Setup Performance は、リヨンに生産拠点を有し、Advanc3D Materials の SLS 材料の開発と製造における最も重要なパートナーです。株式取得に伴い、BNB はこの 2 社を BNB の子会社である BASF 3D Printing Solutions GmbH (B3DPS) に統合します。今回の買収は、BASF の 3D プリント分野の事業拡張における重要な一歩です。

BNB の製造および技術担当バイスプレジデントの Dr. ディートマー・ベンダーは次のように述べています。「BNB は昨年、フィラメントメーカーの Innofil3D 社を買収し、積層造形に用いるプラスチックフィラメントの分野における市場プレゼンスが強化してきました。今回は、粉末床溶融結合 (Powder bed fusion) の分野における当社の市場アクセスを拡大します。今回の買収により当社のポートフォリオが補完され、ポリアミド 11 やポリアミド 12、ポリプロピレンなどの製品に非常に適したものとなります。」 B3DPS は 4 月に、

粉末焼結積層造形法用の新たな PA6(ポリアミド 6) 材料を発表しており、これは、現在市場で一般的に使用されているほとんどの SLS のプリンターで、容易に印刷・造形できる材料です。

また、Advanc3D Materials は市場において定評のある企業で、幅広い製品のほか、市場や用途に関する総合的な知識を提供しています。3D プリント向けの材料に必要な要素には、均一な大きさに細かく挽かれた粉末、添加する UV 安定剤、優れたフリーフロー性などがあります。Setup Performance は、Advanc3D の委託製造を担うとともに、開発パートナーでもあります。Setup Performance の製品 & プロセス開発およびリヨンの生産拠点は、高効率と新製品の開発サイクルが短いことで知られています。

Advanc3D のマネージングディレクターであるフランソワ・ミネック氏は、次のように述べています。「BASF の一員となれることを楽しみにしています。これにより、世界中のお客様が 3D 印刷を用いて工業的に生産するための新たなフォーミュレーションの幅が広がり、開発をさらに進められるようになります。」

また、ディートマー・ベンダーは、次のように述べています。「今回取得するノウハウ、インフラストラクチャー、高度な材料によって、当社の製品構成が完全に補完されます」。B3DPS のポートフォリオの拡充によって、特に自動車産業、消費財産業の既存のお客様、および新規のお客様にメリットがもたらされます。「私たちは、産業用 3D プリント向けの粉末ベースの材料およびフォーミュレーションの主要サプライヤーになることを目指しており、今回の買収は重要な一歩です。」

重要性が高まる 3D プリント

3D プリントプロセスによる積層造形(ALM: Additive Layer Manufacturing)を利用した個別加工のプラスチック部品の製造は、業界でますます重要性が高まっています。粉末焼結積層造形法(SLS: Selective Laser Sintering)は、製造方法の一つです。3次元の構造設計を用い、レーザーがポリアミドなどの粉末の中に物体の形を描いていきます。レーザーに照射された材料が溶解し、必要とされる 3D の物体が層ごとに作られていきます。これまで複雑なプラスチック部品の多くは、射出成形で製造する必要がありました。一方、3D プリントでは、成形の金型が不必要なので少量の生産でも低コストであることと、より迅速に製造できることなどが大きな利点として挙げられます。部品メーカーは、お

お客様の要望にこれまで以上に迅速に対応できるようになり、個々のお客様の要件を容易に満たすことができるようになります。

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

■BASF New Business について

BASF New Business GmbH (BNB) は、産業界、社会、将来の市場における長期トレンドや革新的なテーマの発見や成長性の分析を通じて、BASF に適した新規事業分野の見極めを行う、BASF100%の子会社です。主に BASF の既存事業以外の分野で新たなビジネス機会が見込まれる、輸送、建築・建設、消費財、ヘルス & ニュートリション、エレクトロニクス、農業、および資源・エネルギーなどの顧客分野に注力した取り組みを行っています。BASF New Business は、最も将来性の高いトピックを BASF の新規事業分野として取り上げ、化学を基盤とした画期的な材料、技術、およびシステムソリューションに注力するとともに、新製品の開発を通じて技術の進歩を推進します。技術・市場の評価においては世界中の研究プラットフォームや BASF 事業部と密接に連携するほか、研究機関、大学、ベンチャー企業、および業界パートナーとの協働した取り組みも行っていきます。なお、戦略的に関連性の高い技術分野に携わるベンチャー企業への直接投資は、BASF New Business の子会社である BASF Venture Capital が行っていきます。詳細につきましては、www.basf-new-business.com をご覧ください。

■BASF について

BASF(ビーエーエスエフ)は、ドイツ ルートヴィッヒスハーフェンに本社を置く、世界をリードする化学会社です。持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、環境保護と社会的責任の追及、経済的な成功の3つを同時に果たしています。また、全世界で115,000人以上の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献できるよう努めています。製品ポートフォリオは化学品、高性能製品、機能性材料、農業関連製品、石油・ガスの5つの事業部門から成ります。2017年のBASFの売上高は約645億ユーロでした。BASFは、フランクフルト(BAS)、ロンドン(BFA)およびチューリッヒ(BAS)の証券取引所に上場しています。BASFの詳細情報は、www.basf.com をご覧ください。